

「教養」としての『百科全書』

―共時性の中の文化と知識―

7/25
(木)

16:30 ~ 18:30

2019年7月25日(木)

16:30 ~ 18:30

無料・予約不要

対象：研究者、教職員

関心のある学部生・大学院生

日吉キャンパス来往舎
1階シンポジウムスペース



私がこのたびの講演でご紹介したいのは、きわめて逆説的な研究課題です。

ディドロ＝ダランベール編集になる『百科全書』は、本文だけでもタテ40センチ、ヨコ25センチのフォリオ版で17000頁に及び、普通の書物の100冊分にはなるでしょう。それも同じ人間が書いているのであればまだしも、諸学万般について200人もの協力者がばらばらに項目を執筆しています。項目は多くの場合、他の辞書や参考書のコピー・ペであり、オリジナルと呼べるものは意外と少ないのです。そんな波乱含みの17000頁を全部読んだなどという研究者はどこにもいません。ジャムの作り方を説いている項目に続いて、啓示とは何かを論じる宗教記事がくる。そんな本を誰が「全部」読むでしょうか。

すると、『百科全書』を研究するというのは、全部読んでいない書物についてあれこれ調べたり、論じたりすることになるのです。そんな研究を研究と呼べるのでしょうか。私の狙いは、「巨大量」を前にした人間がいかに振る舞い、どう対処するかという問題への取り組みに尽きるでしょう。お楽しみに。

鷺見 洋一

Yoichi Sumi

慶應義塾大学名誉教授

1941年(昭和16年)東京生まれ

専門領域：18世紀ヨーロッパ文学・思想・歴史



■著書

『「百科全書」と世界図絵』(岩波書店)

『一八世紀 近代の臨界 ディドロとモーツァルト』(ぶねうま舎)

『いま・ここ』のポリフォニー』(ぶねうま舎より近刊予定)

主催：慶應義塾大学教養研究センター

お問合せ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp